

平成 30 年 度

事業 報 告 書

平成30年 4 月 1日から

平成31年 3 月31日まで

公益財団法人 科学技術広報財団

平成30年度事業報告

はじめに

公益財団法人科学技術広報財団（以下「財団」という）は、今日の科学技術の進歩の中で、常に時代の変化に対応して、広範な科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進のため、科学技術に関する情報を広く一般社会に発信し科学知識の普及に寄与する事業を展開していくと共に、事業を通して科学技術広報に関わる人材の育成という使命及び社会的意義を認識し、その目的を達すべく中長期的な視野で事業を展開している。財団運営においては、定款及び各規程のみならず、社会的なコンプライアンスに基づくガバナンスの透明性が求められている。

平成30年度の財団の事業は、科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進、科学技術に関する情報発信、科学知識普及、人材育成、広範な科学技術に関心と理解を深める広報活動に関する事業等を実施した。

収支は前年度に比べ改善したが、依然として公益事業に依存する事業構造となっており、今後の財団経営に課題を残す結果となった。

平成30年度に実施した事業は以下の通りである。

I. 全体運営

(1) 理事会の開催

- ・平成30年6月4日（月） 第16回理事会
 - ① 平成29年度事業報告書及び平成29年度決算報告書を承認した。
 - ② 第7回評議員会の招集について承認した。
 - ③ 理事長及び常務理事より職務執行状況を報告した。
- ・平成30年6月22日（金） 第17回理事会
 - ① 沖村理事を理事長に、広瀬理事を専務理事に、熊澤理事を常務理事にそれぞれ選任し、これを承認した。
- ・平成30年8月22日（水） 第18回理事会
 - ① 熊澤理事より8月2日付けで常務理事と事務局長の辞任の届出をした旨の報告があり、承認された。
 - ② 沖村理事長より他の業務が多忙のため理事長を辞任したい旨の表明があった。
 - ③ 広瀬理事を理事長に選任し、これを承認した。これに伴い、広瀬理事は専務理事を辞任した。
- ・平成31年3月1日（金） 第19回理事会
 - ① 広瀬理事長より職務執行状況の報告があり、体調不良により理事長を辞任したい旨の表明があった。

- ② 高松理事を理事長に選任し、これを承認した。
- ③ 2019年度収支予算（案）及び事業計画（案）については、日を改めて継続審議をすることになった。

・平成31年3月12日（火） 第19回理事会（継続審議）

- ① 2019年度事業計画書及び2019年度収支予算書を承認した。
- ② 熊澤理事を事務局長に選任し、これを承認した。
- ③ 高松理事長より、神戸市立青少年科学館の運営について現状を報告した。

(2) 評議員会の開催

・平成30年6月22日（金） 第7回評議員会

- ① 議事録署名人を選出した。
- ② 平成29年度事業報告書及び平成29年度決算報告書を承認した。
- ③ 任期満了による理事の改選について、理事9名の選任・3名の退任を承認した。

(3) 役員・評議員及び職員の状況

① 役員の現状（平成31年3月31日現在）

役職	定数（人）	現員（人）
理事長	1人	1人
専務理事	1人	0人
常務理事	2人以内	0人
理事	5人以上12人以内	7人（非常勤5人・常勤2人） うち理事長1名
監事	3人以内	1人

② 評議員の現状（平成31年3月31日現在）

定数	現員（人）
5人以上12人以内	6人

③ 職員の現状（平成31年3月31日現在）

区分	職員数（人）
本部事務局	4人
新潟県立自然科学館	13人
神戸市立青少年科学館	6人
ふなばし三番瀬環境学習館	9人
計	32人

④ 役員の異動

退 任		就 任	
退任日	氏 名	就任日	氏名
平成 30 年 6 月 22 日	中村 英俊		
平成 30 年 6 月 22 日	和田 智明		
平成 30 年 6 月 22 日	縣 秀彦		
平成 30 年 8 月 23 日	富田 英保		
平成 30 年 12 月 31 日	福島 三喜子		
平成 31 年 3 月 31 日	広瀬 研吉		

⑤ 評議員の異動

なし

(4) 広報活動

最新の科学及び技術に関するトピックスを提供するほか、科学技術に関わる法人・団体とのネットワークを充実させることにより、ホームページ及びWEBを通じた財団広報活動の活性化を図った。

II. 事業

1. 科学技術の広報に関する調査研究及び刊行物等の編集及び頒布

(1) 科学ポスターの企画・作成及び提供

最新の科学研究成果への興味喚起及び知識の理解増進を目的として、科学ポスター「栄養素」を女子栄養大学監修、協力のもと制作し頒布を開始した。

「宇宙図」を最新の情報に改訂し、「宇宙図2018」として販売を継続した。

IT販売窓口の拡充を図るため、AmazonおよびYahoo!shoppingへの出店を継続した。また、書店、科学館及び大学生協などの販売機関に対し、最新の商品情報（パンフレット）の提供を行うとともに教材カタログに掲載するなど販売の拡大を継続した。

① 売上件数 : 3,917件

② 売上総枚数 : 29,862枚

- ③ 取扱店舗数：科学館・博物館等ミュージアムショップ：24店舗、書店：11店舗、大学生協：21店舗、WEB：4店舗、教材卸：8店舗、その他：1店舗

計69店舗（平成31年3月31日現在）

(2) 科学グッズの企画・開発及び提供

次年度以降の販売用として「元素周期表」のクリアホルダーを最新の第11版に更新し、制作した。

理化学研究所が創立百周年及び113番元素の発見を記念して製作したグッズ(手ぬぐいなど)を継続して販売するとともに、新商品も追加して販売した。

2. 科学技術に関する広報啓発並びに人材の育成

2-1. 科学館の運営及び運営支援

- (1) 新潟県立自然科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業で期間は平成27年4月から平成32年3月まで5年間）として、管理運営業務及び科学教育普及事業を実施した。

平成30年度来館者実績：275,485人

- (2) 神戸市立青少年科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業）として、平成30年4月1日より平成35年3月31日まで5年間の管理・運営を受託。共同事業体の一員として、企画業務及び科学教育普及事業を実施した。

平成30年度来館者実績：391,777人

- (3) ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館の指定管理者（公益財団法人との共同事業で期間は平成29年4月1日～平成34年3月31日の5年間）として、三番瀬の干潟を利用した環境学習プログラムの実施及び特別展・ワークショップ等を企画実施した

平成30年度利用者実績：52,395人

2-2. 展示・映像コンテンツの企画・開発及び提供

(1) 展示コンテンツの開発

- ① 神戸市立青少年科学館向け子供向けオリジナルプラネタリウム番組として「宇宙のふしぎ」を制作し上映した。
- ② 神戸市立青少年科学館向けオリジナルプラネタリウム番組企画として「Feel the universe～私の瞳に映る宇宙～」、子供向け番組オリジナルプラネタリウム番組として「ボーケンくんのはるかなたび」、「もしもの宇宙」を制作した。

(2) 展示・映像コンテンツの提供

一昨年度神戸市立青少年科学館向けオリジナルプラネタリウム番組として制作、

上映した「星の恋人～ほしこい君と夜空の記憶～」が新潟県立自然科学館で上映された。

(3) 展示コンテンツの巡回

「こわいものめぐり展」の巡回プロモート。
財団所有展示コンテンツ「こわいものめぐり展」のプロモートを行い、群馬こどもの国で実施。

3. 科学技術普及・利用に係る広報・支援及び施設・展示の企画・立案

団体・企業からの依頼により、団体・企業の持つ科学技術の普及と利用促進を目的とした以下の事業を収益事業として実施した。

- ①情報オリンピック日本委員会事務局への支援業務を実施した。
- ②公共団体から科学館展示物調査業務を受託し実施した。
- ③科学館への展示物のコンサルティング事業を実施。
- ④民間企業へ財団所有展示コンテンツ「深海回転寿司」の貸し出しを行った。

以上